

チェリスト**富田牧子**の

おはなしコンサート“イタリア!イタリア!”その1

17、18世紀バロック時代の音楽～独奏チェロの始まり

ポジティブオルガン 原田靖子 (松本市音楽文化ホールオルガニスト)

チェロという楽器を通して西洋音楽の歴史を辿る、おはなしコンサート。第1回はこの楽器が生まれた頃の北イタリアの作品を中心にお届けします。音楽の土台となるバス(低音)パートの役割から新たな音楽表現へ、演奏技術の探求が始まるチェロの黎明期。前身である大型低音弦楽器のための G.フレスコバルディや G.B.ヴィターリ、独奏楽器としての先駆者 D.ガブリエッリなどボローニャのチェロ奏者たちの作品を、バロック時代の様式のチェロと弓を用いて、ポジティブオルガン(合奏用の小さなパイプオルガン)と一緒に演奏します。

今後開催予定の参加型ワークショップ——楽器を演奏される方と一緒にバツオスティナーートや様々な舞曲のアンサンブル——の導入編でもあります。どうぞお楽しみに!

2021年 **6月5日(土)** 3回公演 (70分プログラム。途中休憩あり)

11:00開演/**13:15**開演/**15:15**開演 [開場は各回15分前]

松本市音楽文化ホール 第3練習室

各回定員15名 要予約

チケット:一般2500円/小中学生500円/高校大学生1000円 未就学児無料(5名まで)

予約・問合せ:MA(エムエー)企画 kikaku_ma@yahoo.co.jp (前日8時まで) 電話 090-6340-3999

主催:MA企画

富田牧子 チェロ奏者

バロックと現代のスタイルのチェロにガット(羊腸)弦を張り、自然体の音楽と室内楽の楽しさを広める活動をしている。東京芸術大学在学中に演奏活動を始め、同大学大学院修士課程修了後ハンガリーに留学。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会でソロと室内楽の研鑽を積む。楽曲に合わせて楽器と弓を持ち替えながらソロリサイタルを開催するほか、「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」を継続。パーカッションとのデュオ《羊とヤギ》でCD「O Terra (大地よ)」発売。陰翳に富む音色と伸びやかな音楽表現には定評がある。身体と演奏の繋がりを探り、耳を澄ませて楽器の音を引き出すアンサンブルワークショップも行っている。長野県在住。



次回 おはなしコンサート“イタリア!イタリア!”その2 10月2日(土) 開催です!

～新型コロナウイルス感染拡大防止対策について～

*トークの間は演奏者もマスクを着用します。

*当公演は前半、後半とも30分のプログラムとし、休憩時間に換気をいたします。

*お客様間の距離を十分に保つため、定員の半数以下15席に限定いたします。

*マスクの着用、および入場時の手洗い消毒にご協力をお願いいたします。

*咳、発熱、頭痛など体調に異常がある方は、来場をお控えください。

*チケットの裏面に、来場者のお名前とご連絡先をご記入ください(感染拡大防止のため、購入者ではなく実際に来場された方全員の連絡先を把握する必要があります)。チケットは公演終了後に回収いたします。